

06.10.11 支援相談員・介護支援専門員研修会受講アンケート

① 参加者年齢構成

～19歳	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	不明	合計
0	1	13	18	2	0	34

② 職種

医師 施設長	看護師	介護員	相談員	ケアマネ	PT	OT	ST	その他
0	0	0	28	6	0	0	0	0

③ 講義内容

講義1	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	34	0	0	0
講義2	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	34	0	0	0
講義3	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	25	0	0	9

④ 具体的感想

講義 1～3

- ・他施設での取り組みについて知ることができて良かった。入所判定会の開催する頻度増が必要と感じたまたICT化によるスタッフの負担軽減することのデメリットやメリットがあり、導入しすぎも負担になるため検討が必要だと思う。PMでの講義ではなとりDCの講話が印象的でした。同じDCの相談員として共感できるところや取り組みを知れて良かった。
- ・自分が働いている施設ではwisemanは活用しているが、aamsというのは初めて知った。aamsを活用することで人員の削減ができ、Me11+により記録の手間が減るという事で人手不足の自分たちにはとってもありがたいものだと感じた。また、医療機関からみた老健施設というところで思い当たる話がたくさんでため持ち帰り共有していきたい。
- ・支援相談員になり3か月でわからないことだらけの事が多いが、やはりサービスの知識をつけていく事がとても大切だと思った。また「餅は餅屋」という話もその通りだと思った。わからないことは専門職に聞くのが一番だと思った。
- ・通所リハビリテーションや併設老健の話ありがとうございました。

- ・ICTの活用についての機器導入やその後の管理について伺わせていただいておりますが、現場の必要数が導入のきっかけに増台要望としてあがってくると現場の大変さと予算のすり合わせが避けられない課題となっている。医療機関との連携は必要不可欠であり密な関係性の構築が求められる。ただ単に連携や情報共有を図るのではなく、その後のことも適切に対応している様努めている。リハマネ加算やその他の加算算定に対し、準備を進め本日の研修でいただいた沢山の情報を活かしていきたいと思う。ありがとうございました。
- ・他施設講師の方々から話を聞くことで自分の施設で行えていること、不足していることが理解しやすくなった。すぐに確認、取り組むべき課題も明確に見えてきたため、他職員との情報共有、問題点を洗い出すための気づきを多く得ることができた研修会だった。
- ・近々ICT導入しているので実際の状況聞き今後の実施に向け参考にしたい。全職員が共通の目的意識があり、相談員に任せてくれている部分が多いとのことで私たちの施設でも改善したい。
- ・病院とのZOOM会議をまだ始めたばかりだったので、参考になった。病院の現状、医療保険についても知識を増やす必要性を感じた。
- ・算定を説明する上でもしっかりと理解し伝えられるようになる。他施設の情報が聞けて良かった。
- ・老健の支援相談員になる前は病院の医療ソーシャルワーカー、その前はPTとして訪問リハ、病院のリハをしていた。今回の研修会でもあったように、医療と介護の制度を理解することで利用者さんの生活により良くなることができると再認識した。支援相談員としてまだ2年3か月だが、施設のスムーズな運営ができるよう、また病院との繋がりがより濃いものになるよう、できることをやっていきたい。何より利用者さんの為になることを制度にのっとってやれば施設の経営もより良くなると信じて頑張っていきたいと思う。
- ・どの研修会のテーマも大変勉強になった。それぞれの施設でどの加算をとれるのかを考えている事。また、誰かが先頭きって加算取得できるように取り組み方法を考え取り組んでいく事の大切さを学んだ。多職種で協力し合えていくのも老健の良さで改めて感じた。
- ・加算取得についてただ加算をとるだけでなくその加算の意義を考えることで入居者へのケアの質にも関わっていく事を改めて学んだ。
- ・施設での加算への取り組みの熱量の差が見えた。どうにかしてとらないと、とりたいたいという思いや先頭に立って先導する人が必要だと感じた。
- ・ICT活用の事例を聞いて自分の施設にも活かせればと思った。カスハラに対する相談員としての態度も参考となった。自分が利用者や家族に対してどう接するかもハラスメントの予防に繋がるようにも感じた。他施設の加算算定の状況を知れたことも自施設の運営において参考になるものだった。PMには自施設と同じ併設型老健の実情を知ることができ興味深かった。同じような悩みもあり共感できた。相談員やCM、経営陣だけでなく現場スタッフへの周知、理解を求めていくことの重要性をさらに感じた。他の施設さんの状況を伺えて良かった。こうした機会を設けていただきありがとうございました。
- ・単独型として超強化型を目指すために必要な事が参考になった。医療機関との連携について自施設で検討すべき内容が具体的になった。
- ・現在、当施設でも電子カルテへの移行等を行っている所であり、実際に行っている状況を聞くことができ参考になった。ハラスメントについても理解しておくことが必要な内容であり、今までもハラスメントになりかねない状況も体験しており、興味深い内容だった。加算の算定について実際に取り組んでいる職員に加算

や取り組みの意味をしっかりと理解してもらうことが大切ということが当施設でも当てはまることだと感じた。

- 他施設の加算取得に向けた取り組みを知れて良かった。また当施設でもワイズマン（介護記録）の導入をしており、来月から本稼働を予定している。a a m s も検討したいと思った。協力医療機関について月に1回病院会議を開催している。今まで当病院の受診歴のない人の意見交換やターミナル期、悩んでいる疾患等、話し合いを行っていた。資料準備等大変な面が多いと感じている。
- 当施設では電子カルテの導入が始まり移行中だが、導入時期で各々で意見が聞かれている。人員を減らすというよりケアの手厚さに目を向けることが大切だと思った。MSWの方の意見を聞いてみて参考になった。包括ケア病棟からの受入れが主なため急性期からの入所がない状態だが、スピード感はどちらにとっても大事なのだと思った。報酬改定に向けて各事業所の取り組みの話がとても産駒になった。加算の算定や内容に関して自分自身がもっと目を向けなくてはならないと感じた。
- それぞれの施設での取り組みについて知ることができた。協力医療機関の会議内容や例を・・リハビリテーション会議の調整をどのようにしているのか理解できた。歯科衛生士がスタッフにいと聞いて勉強できた。
- 他の施設でのICT導入、取り組み等参考になった。ICT導入によって費用や職員の負担軽減がどのくらい変化があったのか気になった。
- a a m s を使用することにより入力作業を省いたり巡視にかかる時間も減らしたりと労働意欲へと繋がるといふ事が印象的だった。またどこよりも早い入居調整では連絡が入った時点である程度目の届きは決めておくという事で、自分の施設でも先々を見越して行動していきたい。医療機関の連携では、薬価の幅が広く薬価が高い方でも柔軟に対応できており、ぜひ取り入れていきたい。それぞれの事業所の方々の取り組みを学ぶことができ勉強になった。加算をとっていただくだけでなく、それに見合う施設になれるよう施設全体として考えなければならない。ありがとうございました。
- 加算算定要項をしっかりと理解しうまく活用しながらケアの質向上や様々な関係性の構築に努めていきたいと思った。大変勉強になった。ありがとうございました。
- ICT活用することにより負担軽減となり入所者・スタッフともに安心安全につながる事がわかった。導入までのハードルは高いように思うがメリットの方が多いと思った。
- 医療機関との連携ではターミナルの方の病院受入れは難しいことが多いため家族と密に話をできるだけ希望を叶えるには相談員の知識がとても重要だと感じた。各施設の講義を聞いて老健に努めて半年で目の前の業務に精一杯で、加算について、稼働率等について考えられていない部分があったので意識できるようにしていきたい。
- 介護報酬改定に伴い加算をとるための取り組みを紹介してもらい参考になった。当施設でも加算型から強化型への移行を目指しているところなので、チーム一丸となって頑張っていきたい。
- 度の講義も大変参考になり自分の勉強不足を感じている。たくさんの加算があるが加算をとるためには、何よりまず働く職員皆がしっかりと内容を理解すること、何のために必要で、どんなメリットがあるのか？一部の役職のある方々にまかせるのではなく、すべての職員が理解することによりスムーズに行えるのだと感じた。また他職種で連携して加算の内容ごとに担当者を定めるところも自分の施設には不足している所なのではないかと感じた。これからまずしっかりと自分自身が内容を理解し、ご利用者様、ご家族様にと

ってよりよいサービス提供ができるよう頑張っていきたい。

- ・施設内では各職種隔たりを感じる時があるが、講義1を聞いて共感できる部分や目指していた相談員の在り方を思い出すことができ良かった。また、制度改定についても施設の実情を交え話してもらったので、わかりやすく良かった。
- ・ICT活用を進めていくうえで介護ソフトとの連動に関して、とても良いことだと感じた。自施設において何か検討できるものはないか探してみたい。協力医療機関との連携について模索していた中で実際の資料を見せてもらうことができ参考になった。各事業所の加算に対しての取り組みについて他事業所も悩んでいるところは同じなんだと感じた。
- ・当施設の取り組みと研修内容において整合性がとれ、自信を持ち業務に取り組みたいと感じた。
- ・当施設もICT導入しているがしっかりと意味や使い方がわかっていない職員が多数いる。しっかりと理解したうえで活用してもらえるよう説明をしていきたい。医療機関との連携は必須だが、イマイチ連携がしっかりと図れていないと感じた。今後協力医療機関との連携を（協力医療機関はあるが）強化・情報共有を図るためにも早急に対応していきたい。他施設での具体的な取り組みを知ることができとても参考になった。
- ・老健施設の入所の相談員としては経験はないので、医療機関連携の部分などは勉強させてもらいながら通所リハでも退院時の連携も加算に入ってくるため大事な講義を聞かせてもらった。加算算定の取り組みなどほどの事業所も取得にあたって難しさ、大変さを感じながらも利用者様への還元・質の向上につなげられよう取り組まれているのだと感じた。自事業所でも加算算定を進めていく中で見えた課題もあるので、利用者、家族、ケアマネ等関わる人たちにとっても良い取り組みとなるよう今後も進めていきたいと思う。
- ・各施設のICT導入や加算の具体的な取り組み状況を知ることができ、大変参考になった。相談員の果たす機能や裁量によって実現できることも変わると思った。他施設の皆さんの活躍を伺い励みとなった。
- ・相談員として入所受入れ業務だけでなくICTや加算など多方面の知識が必要で施設の潤滑剤として立ち回らなければならないと改めて思った。自分自身の学びを今後も深めていく必要があると感じた。
- ・医療機関からみた老健という視点は改めて共感した。スムーズかつタイムリーな受入れを求めている医療機関のニーズを意識した対応を今後も継続していきたいと思った。当施設では判定会議は適時実施し、診断書の完成を待たず採血データ等の医療情報を基に実調、受け入れをしている。実調日程も入所日（予定日）から逆算して速やかに行うようにしている。
- ・講義2の協力医療機関との連携で当施設では地域の総合病院（大病院）と連携させていただいているが、医療機関医にとってのメリットが少ないためか十分な連携がとれていないように感じる。他施設の方法を参考に加算算定できるよう取り組んでいきたい。
- ・現場スタッフは常に身体的、心的負担があると思うのでICT導入により安心安全に繋がるのであれば導入も考えなければならないと思った。医療機関から見た老健はとても参考になった。加算に関して実際の場面用紙などもあり参考になった。
- ・講義の中で紹介されていたa a m sを使っているが活用できていないと感じるところもあったので、介護記録との連携や全床に設置しなくとも活用できることなどが参考になった。
- ・協力病院との連携加算について実施方法を検討中だったので、他施設の具体的な事例がとても参考になった。全体質疑の内容については、フリートークの中でも参加している各参加者の施設の加算状況や取り組みなど

も知れて非常に参考になった。

- ・共感できる部分がいろいろあったが、地域上強化型にはなかなか厳しい現状でなれてないが、今回の研修では学ぶこともたくさんあり参加して良かった。ありがとうございました。

その他

- ・久しぶりに外部研修に参加できて良かったです。また参加したい。
- ・相談課は何でも屋さんのように広範囲で仕事を振られることが多くある。業務量、負担が多い部分を感じる。また、介護、看護との関わりでも現場への理解が足りないと感じさせてしまうことがある。自分は仕事が好きだが相談員を育成する上でもストレスや負担改善に向けた研修会も開催してほしい。
- ・次回このような老健の勉強会があればぜひ参加したいと思う。
- ・他施設の加算への取り組み方、取得までの方法など学ぶことができた。施設へ持ち帰り活用できればと思う。
- ・老健で算定できる加算について算定状況だけでなく、どう取り組んでいるかを具体的に知りたい。実地指導がない中で今の取り組みが良いのか不安になる。
- ・見守り聞きなどICT活用については検討している檀家にある。費用面のハードルもあり補助金等活用できれば良いと思う。
- ・他職種で加算算定やICT活用等、現場の方に向けての働きかけはどのようにしているか
- ・他施設での取り組みや加算の部分について聞くことができとても参考になった。
- ・他施設での取り組み等とても参考になった。ありがとうございました。
- ・自分が悩んでいる所に関しては他事業所の方も同じ認識をもっており、どうすれば円滑に進められるかわれていることがわかり、意見交換を行うことで今後の方針ややり方が明確化されたのでとても勉強になった。
- ・介護報酬はとても大変だったがどこの施設も同じ思いで取り組んでいると改めて思った。支援相談員として取り組めることは取り組んで行こうと思った。
- ・今回の改定で各施設いろいろ迷いながら取り組みされていると思うのでグループワークがあったら良かったのではないと思う。